

平成31年

1月

和歌山南倫理法人会

MORNING SEMINAR

経営者の勉強会

経営者の体験から学ぶ、実践型朝活セミナー&交流会

会場：ルミエール華月殿

和歌山市屋形町2丁目10

経営者モーニングセミナー 朝食会（朝食 500円）

A
M 6:30 ▶ 7:30 A
M 7:30 ▶ 8:30

第155回

11 「我が人生、今からこれから」

(一社) 倫理研究所 法人レクチャラー
 泉州倫理法人会 相談役
 (株) キューブ・インターナショナル 代表取締役会長
 (株) L.I.P. リップ 代表取締役社長

久場 共見子 氏

小さい頃の苦しい生活からはじまって、今までの人生と倫理を学んでの考え方・生き方のちがいと、これからの人生を話します。



第157回

25

「人間の使命」

伊豆中央倫理法人会 相談役
 株式会社八木繊維 代表取締役社長

八木 和男 氏

2005年1月 三島市倫理法人会入会
 2008年9月 三島市倫理法人会 会長拝命 (3年間)
 2009年9月 静岡県倫理法人会 副会長拝命 (4年間) 法人レクチャラー-拝命
 2013年9月 伊豆中央準倫理法人会 会長拝命
 2017年9月 伊豆中央倫理法人会 相談役
 現在に至る



「情緒の共有」

(一社) 倫理研究所 名誉研究員

戸田 徹男 氏



1945年熊本市生まれ。1965年社団法人倫理研究所入所。月刊誌『新世』の編集に携わり、法人局長、生涯局長、総務局長などを経て、2015年1月から現職。個人研究として登校拒否・ひきこもり研究に関わる。著書は『喜劇-実例に学ぶ17のポイント-』(2000年)、『子が変わる』(2001年、共著)、『信じる力-ひきこもりを解決した母たち-』(2011年) いずれも新世書房刊。

第156回

18 「みんながクリエイター ~パーソナルな時代の中に~」

作家

香月 にいな 氏

会社員から『作家』に転職したと考えている香月にいな(かづきにいな)の 独特な作風・ユニークな発表方法で駆け抜けてきた活動の中で見つけたヒントをお話させてください。そして、今だからこそ伝えたい、和歌山内外で活躍する作家・アーティスト・画家たち取材した際に感じた彼らの姿・情熱もお伝えいたします。

1/24
(木)

和歌山南倫理法人会 倫理経営講演会

大転換の時代 一岐路に立つ

第一部 事業体験

静岡県伊豆中央倫理法人会 八木 和男 相談役

第二部 講演

(一社) 倫理研究所 戸田 徹男 名誉研究員

18:30~20:30

於：和歌山マリーナシティホテル 聴講費 2,000円 (18:30~20:30) / 懇親会費 3,000円 (20:30~21:30)

和歌山市倫理法人会

MORNING SEMINAR

経営者の勉強会

経営者の体験から学ぶ、実践型朝活セミナー&交流会

会場：ダイワロイネット
ホテル和歌山4階
和歌山市七番丁26-1（和歌山城正門前）

経営者モーニングセミナー 朝食会（朝食500円）
A M 6:30 ▶ 7:30 A M 7:30 ▶ 8:30

第261回

8

「純粹倫理とは
～深くて広いひとのみち～」

(一社) 倫理研究所 近畿副方面長

宇都 進氏

2004年 社団法人倫理研究所に入所 富士倫理学苑にて2年間の学修課程を修了

学苑では両親と自身の関係を見つめ、学修・実践に取り組み、「食事の倫理」について研鑽

2006年 教育局 2007年 生涯局 2013年 教育センター教務部

2015年 法人局 普及事業部 首都圏方面担当研究員

2016年 東海・北陸方面 副方面長を経て 現在に至る



第262回

15

「2019年
和歌山県倫理法人会の挑戦」和歌山南倫理法人会 副会長
(株)スタジオパートスリー 専務取締役

中道 幸代氏

2019年8月、和歌山紀央倫理法人会の設立の経過報告、その取り組みの中での発見など、新年を迎えての決意と共にお話しさせていただきます。



第263回

22

「職場の教養との出会いが
人生を変えた」(一社) 倫理研究所 法人スーパーバイザー
香川県倫理法人会相談役
日渉塗料(株) 代表取締役社長

二川 正志氏

平成元年「職場の教養」が気に入り大阪の会員となり、平成6年に香川県倫理法人会開設に伴い移籍し、以来香川県倫理法人会が1000社を超す今日に至るまで、単会会長、県普及拡大委員長、県会長を経験しました。また、家庭倫理の会にも所属して、倫理指導を受けて、朝起き(100日皆勤)、掃除、墓参の実践により、バブル崩壊によるピンチを脱した体験があります。



第264回

29

モーニングセミナー in ちひろ

「熊楠～南方熊楠物語～」

落語家、防災士・応急手当普及員

桂 枝曾丸氏

昭和43年9月12日 和歌山市生れ
昭和62年 五代目桂文枝に入門、小味、小茶久と名乗り平成10年に「二代目桂枝曾丸」を襲名。
平成21年 和歌山県知事表彰 和歌山市文化奨励賞をそれぞれ受賞。

方言を使った「和歌山弁落語」や和歌山の偉人や伝説を題材にした新作落語を発表し続けている。また、近年は防災士・応急手当普及員の資格を取得して、防災落語家としても活躍中！



倫理の言葉「セブンアクト」

「セブンアクト」は、倫理の「明朗、愛和、喜働」の基本的な考えを、日常の生活を通じて体得できるように社会生活に必須の七つの実践項目に集約したものです。すべて「あたりまえのこと」ですが、実行が難しいことから、「偉大なる常識(グレートセオリー)」と呼んでいます。

- 1、あいさつが示す人から、躊躇せず先手で明るくハッキリと。
- 2、返事は好意のバロメーター、打てば響く「ハイ」の一言。
- 3、気付いた事は即行即止、間髪いれずに実行を。
- 4、先手は勝つ手5分前、心を整え完全燃焼。
- 5、背筋を伸ばしてあごをひく、姿勢は気力の第一歩。
- 6、友情はルールを守る心から、連帯感を育てよう。
- 7、物の整理は心の整理、感謝をこめて後始末。